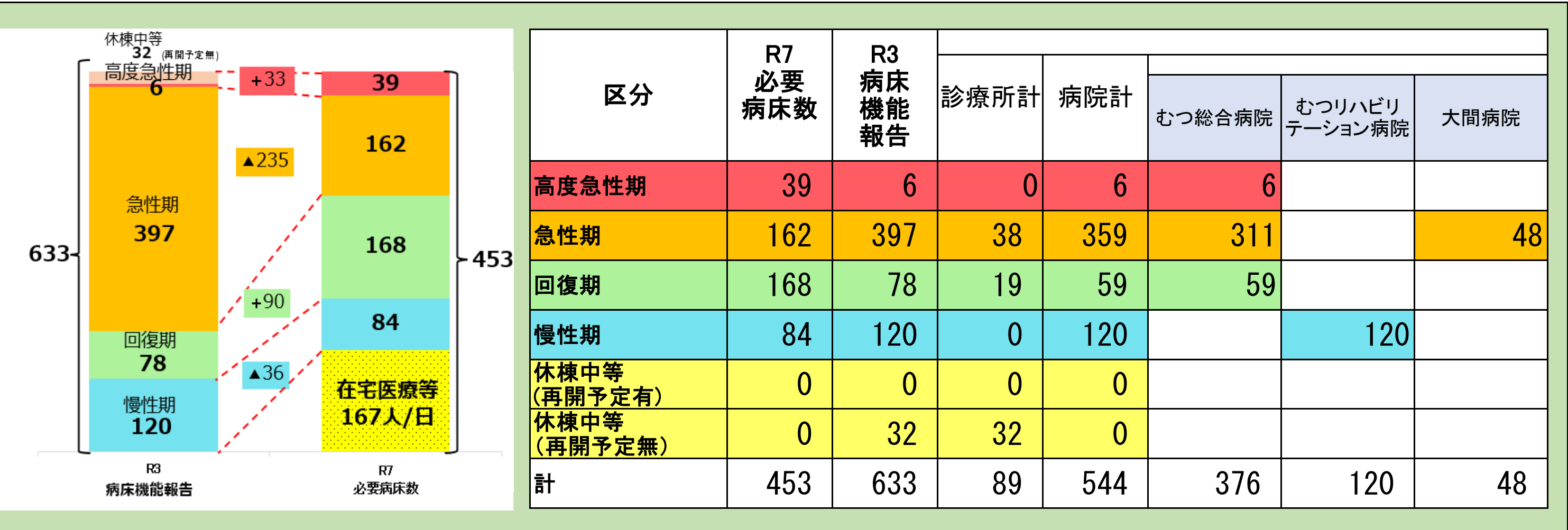


令和3年度病床機能報告の結果（診療実績等）下北地域

資料 1－3

診療実績を踏まえ、医療機能を選択するための判断材料の一つとして、又、地域における医療提供内容の共有により、病院間の連携強化に向けた議論の参考として作成。



1. 入院患者数

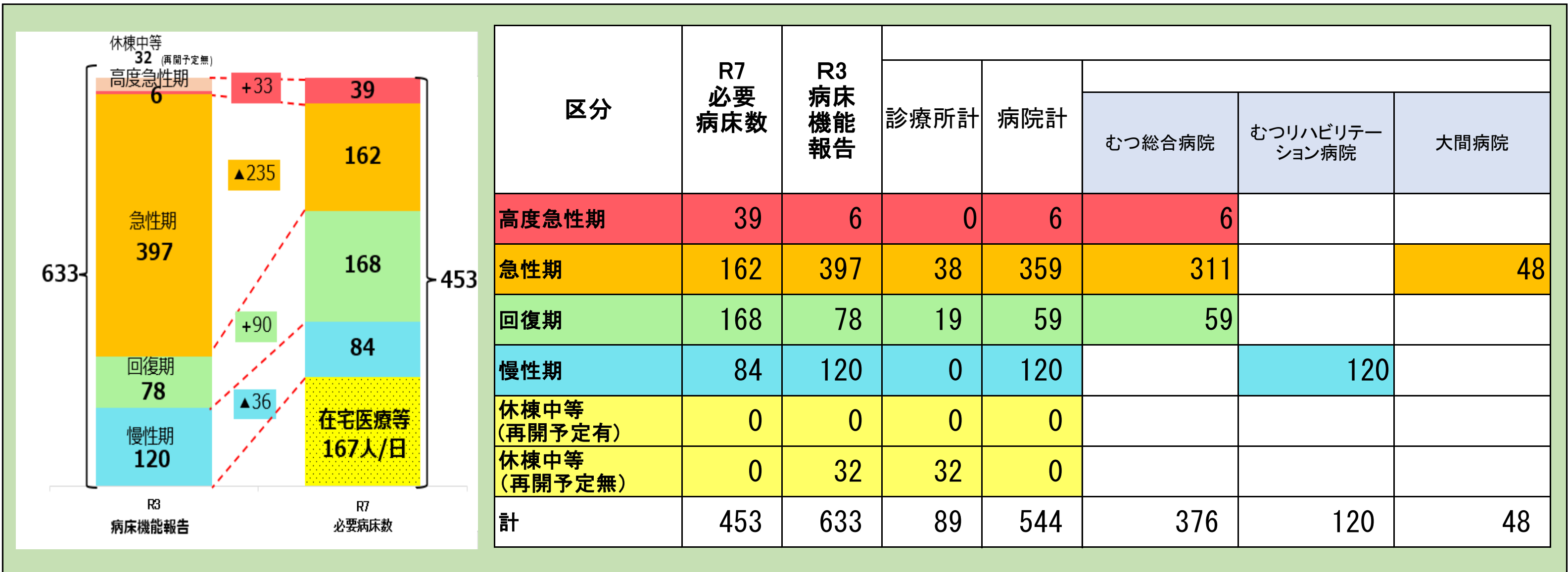
	むつ総合病院	むつリハビリテーション病院	大間病院
【病床利用率 入院患者数／許可病床数(休棟中等除く)】	71.2%	86.4%	49.3%
【病床稼働率 (入院患者数+退院患者数)／許可病床数(休棟中等除く)】	76.1%	86.7%	53.1%

2. 算定する入院基本料届出病床数

	むつ総合病院	むつリハビリテーション病院	大間病院
急性期一般入院料4	319		
急性期一般入院料6			48
特定集中治療室管理料3	4		
小児入院医療管理料4	15		
地域包括ケア病棟入院料2	54		
療養病棟入院基本料2		80	
介護療養病床において療養型介護療養施設サービス費等の届出あり		40	
合 計	392	120	48

※（ ）内の数値は、病室単位で届出を行っている場合の病床

令和3年度病床機能報告の結果（診療実績等） 下北地域

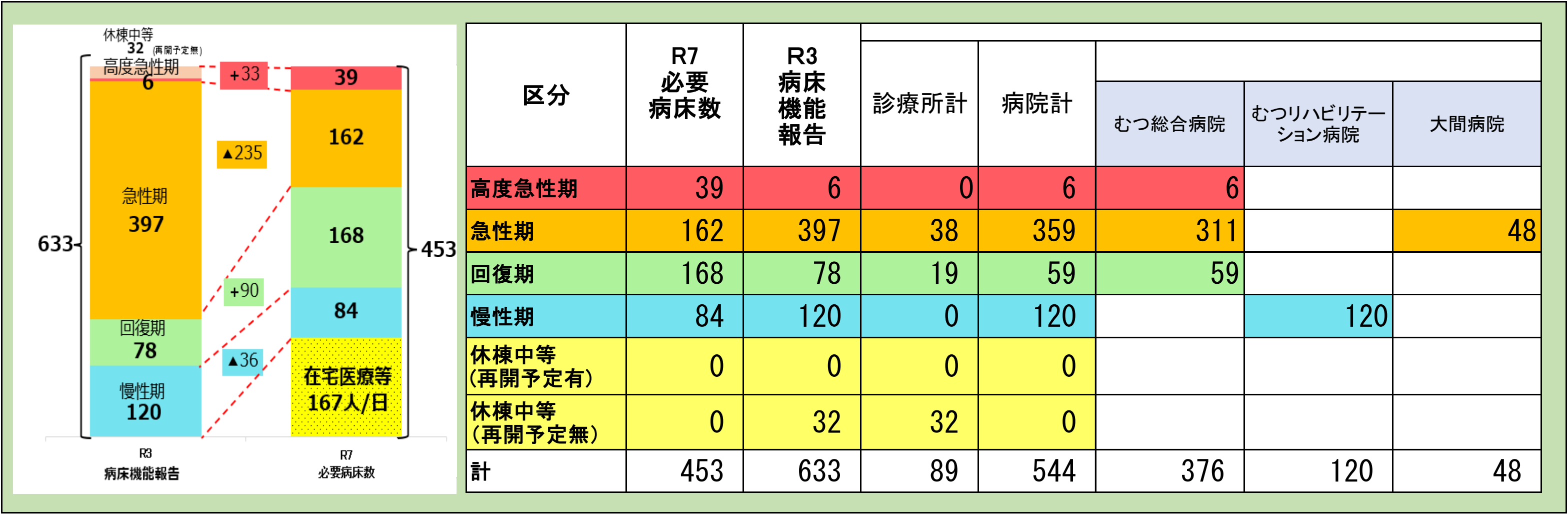


3. 認定・届出等

(項目の解説)		むつ総合病院	むつリハビリテーション病院	大間病院
DPC医療機関群の種類	DPC制度とは、急性期の入院医療を担う医療機関において、患者に対し、入院日数に応じた1日あたり定額の医療費を請求する制度です。この項目は、DPC制度の対象となる病院の特性を示すもので、特性や疾患等に応じて1日あたりの医療費の設定が異なります。「大学病院本院群」が大学病院本院、「DPC特定病院群」が大学病院本院に準じる病院、「DPC標準病院群」がそれ以外の病院であることを示します。	D P C 標準病院群		
救急告示病院の告示の有無	救急告示病院とは、事故や急病等による救急患者を救急隊が緊急に搬送する医療機関として、都道府県知事が認めた病院です。また、救急患者のうち、入院医療が必要な重症な救急患者を休日や夜間に受け入れる医療機関を二次救急医療施設といいます。さらに、二次救急では対応できない重篤な救急患者を24時間体制で受け入れる医療機関をを三次救急医療施設と呼びます。	○		○
二次救急医療施設の認定の有無		○		○
三次救急医療施設の認定の有無				
特定機能病院の承認の有無	特定機能病院とは、高度の医療の提供、高度の医療技術の開発及び高度の医療に関する研修を実施する能力を備えた病院として、厚生労働大臣が承認した病院をいいます。			
地域医療支援病院の承認の有無	地域医療支援病院とは、紹介患者に対する医療提供、医療機器等の共同利用の実施等を通じて、第一線の地域医療を担うかかりつけ医、かかりつけ歯科医等を支援する能力を備え、地域医療の確保を図る病院として相応しい構造設備等を有する病院として、都道府県知事が承認した病院をいいます。			
総合入院体制加算の届出の有無	総合入院体制加算とは、十分な人員配置および設備等を備え総合的かつ専門的な急性期医療を24時間提供できる体制等を確保している病院のことです。			
在宅療養支援病院の届出の有無	在宅療養支援病院とは、24時間往診が可能な体制を確保し、また訪問看護ステーションとの連携により24時間訪問看護の提供が可能な体制を確保している病院のことです。			○
在宅療養後方支援病院の届出の有無	在宅療養後方支援病院とは、在宅医療を受けている患者の急変時に備え、緊急入院を受け入れるための病床を確保している病院です。			



令和3年度病床機能報告の結果（診療実績等） 下北地域



4. 手術の状況

200件以上

30～199件

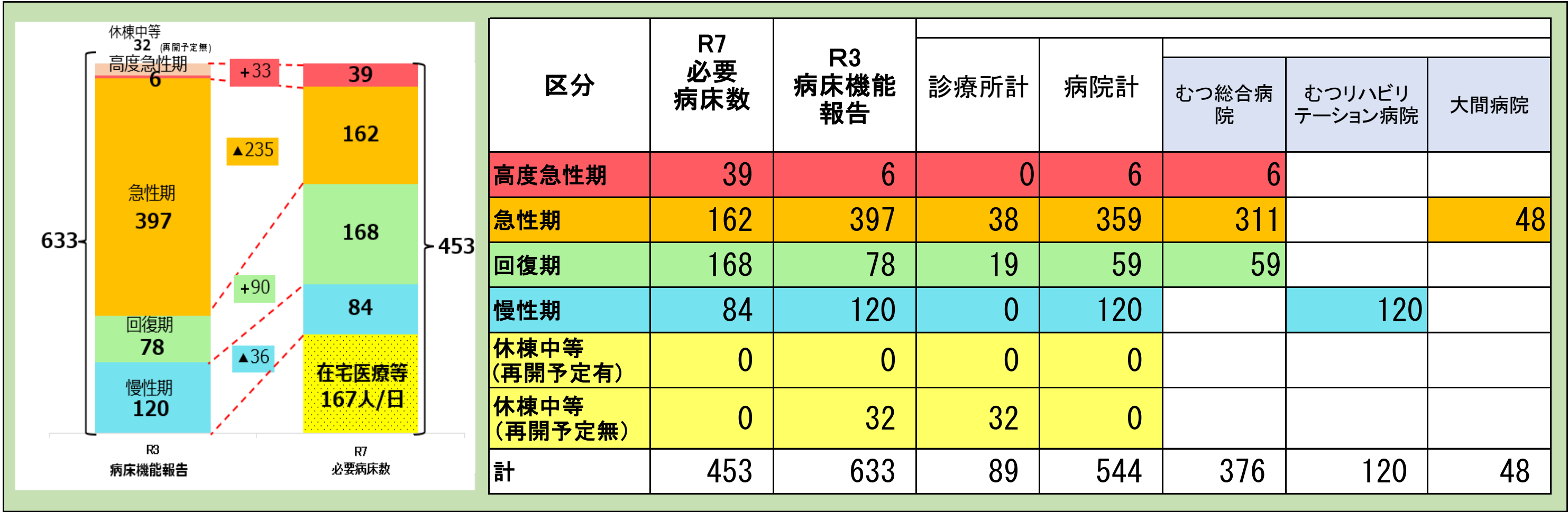
1～30件

1・令和2年4月1日～令和3年3月31日までの1年分の実績。

2. \* の表示は値が10件未満であることを示す。

		(項目の解説)	むつ総合病院	むつリハビリテーション病院	大間病院
手術総数		手術の状況は、手術を受けた患者数と、手術の対象となった臓器別の患者数です。	2,432件	0件	*
臓器別の状況	皮膚・皮下組織		*	0件	*
	筋骨格系・四肢・体幹		395件	0件	*
	神経系・頭蓋		*	0件	0件
	眼		*	0件	0件
	耳鼻咽喉		*	0件	0件
	顔面・口腔・頸部		*	0件	0件
	胸部		*	0件	0件
	心・脈管		*	0件	0件
	腹部		419件	0件	*
	尿路系・副腎		*	0件	0件
	性器		208件	0件	0件
	歯科		0件	0件	0件
全身麻酔の手術総数		全身麻酔の手術の状況は、全身麻酔を用いて手術を受けた患者数と、手術の対象となった臓器別の患者数です。	448件	0件	0件
臓器別の状況	皮膚・皮下組織		*	0件	0件
	筋骨格系・四肢・体幹		211件	0件	0件
	神経系・頭蓋		*	0件	0件
	眼		*	0件	0件
	耳鼻咽喉		*	0件	0件
	顔面・口腔・頸部		*	0件	0件
	胸部		*	0件	0件
	心・脈管		*	0件	0件
	腹部		*	0件	0件
	尿路系・副腎		*	0件	0件
	性器		*	0件	0件
	歯科		*	0件	0件
人工心肺を用いた手術		人工心肺を用いた手術とは、心臓手術などの際に心臓と肺の機能を代行する装置を用いて行う手術です。値はこの手術を行った患者数です。	0件	0件	0件
胸腔鏡下手術		胸腔鏡下手術とは、胸部を切り開くことはせず、胸部に開けた小さな穴から、胸部用の内視鏡などの器具を入れて行う手術で「きょうくきょうかしゅじゅつ」と読みます。値はこの手術を行った患者数です。	0件	0件	0件
腹腔鏡下手術		腹腔鏡下手術とは、腹部を切り開くことはせず、腹部に開けた小さな穴から、腹部用の内視鏡などの器具を入れて行う手術で「ふくくきょうかしゅじゅつ」と読みます。値はこの手術を行った患者数です。	*	0件	0件

令和3年度病床機能報告の結果（診療実績等）下北地域



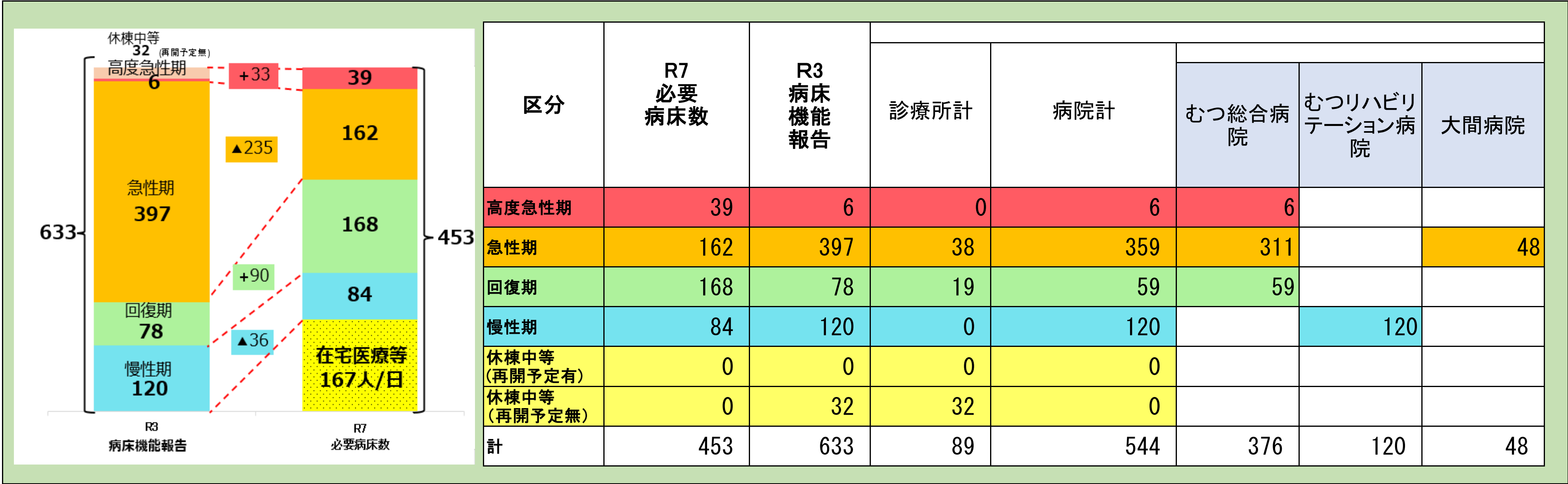
5. がん、脳卒中、心筋梗塞、分娩への対応状況

- 1・令和2年4月1日～令和3年3月31日までの1年分の実績。
2. \* の表示は値が10件未満であることを示す。

(がん)		<div><div></div>200件以上</div> <div><div></div>1～199件</div>			
(項目の解説)			むつ総合 病院	むつリハビリ テーション病院	大間病院
悪性腫瘍手術	悪性腫瘍手術とは、がんを取るための手術です。値は手術を行った患者数です。		*	0件	0件
病理組織標本作製	病理診断とは、患者の身体から採取した細胞や組織等を観察し、病気の確定診断をすることをいいます。病気の早期発見や治療方針の選択、治療効果の判定等にも役立ちます。値は病理診断に必要な標本(細胞の組織片等)を作成した患者数です。	230件		0件	*
術中迅速病理組織標本作製	術中迅速診断とは、病気の良性・悪性の判断や切除範囲を決めるため、手術中に病理診断をすることをいいます。そのための病理組織標本作製を、手術中に行った患者数です。		*	0件	0件
放射線治療	放射線治療とは、がん放射線に当てる(照射する)ことで、がんを縮小させる治療を放射線治療といいます。値は放射線治療を行った患者数です。		*	0件	0件
化学療法	化学療法は、抗がん剤によりがんを殺したり、小さくしたりする治療法です。値は化学療法を行った患者数です。(ここでいう抗がん剤とは、総務大臣が定める日本標準商品分類における「8742腫瘍用薬」に指定されている医薬品のことを指します。)	278件		*	*
がん患者指導管理料イ及びロ	がん患者指導管理料は、がんの患者が、診断結果や治療方法を理解し、納得のいく治療方針を選択できるよう、専門的な研修を受けた医師や看護師が、文書での説明や相談、指導を行っていることを示す項目です。値は相談や指導を行った患者数です。	0件		0件	0件
抗悪性腫瘍剤局所持続注入	抗悪性腫瘍剤局所持続注入は、がんの患者に対し、カテーテル(細い管状の医療器具)等を用いて動脈や静脈等に抗がん剤を持続的に注入する治療です。値はこの治療を行った患者数です。	266件		0件	0件
肝動脈塞栓を伴う抗悪性腫瘍剤肝動脈内注入	肝動脈塞栓を伴う抗悪性腫瘍剤肝動脈内注入は、肝臓がんの患者に対し、カテーテル(細い管状の医療器具)を用いて肝動脈内に抗がん剤を投入する治療方法をいいます。同時に、動脈の血流を遮断する物質を注入することで、肝臓のがんを殺す治療です。値はこの治療を行った患者数です。	0件		0件	0件
(脳卒中)			むつ総合 病院	むつリハビリ テーション病院	大間病院
(項目の解説)					
超急性期脳卒中加算	超急性期脳卒中加算は、脳梗塞の患者に対し、発症後速やかに薬剤を投与して血栓を溶かす治療を行ったことを示す項目です。値はこの治療を行った患者数です。		*	0件	0件
t-PA投与	t-PA投与は発症から4.5時間以内で、CTやMRI検査で脳梗塞の変化がごく僅かである場合に、tPAという薬剤を点滴(静脈内投与)するものです。値は脳梗塞の患者に対して投与した患者数です。		*	0件	0件
脳血管内手術	脳血管内手術は、脳動脈瘤等の患者に対し、頭蓋骨を切り開く開頭手術をせず、カテーテル(細い管状の医療器具)を用いて脳の血管の内側から患部を治療する手術です。値はこの手術を行った患者数です。	0件		0件	0件
(心筋梗塞)			むつ総合 病院	むつリハビリ テーション病院	大間病院
(項目の解説)					
経皮的冠動脈形成術	経皮的冠動脈形成術は、狭心症や心筋梗塞等の患者に対し、胸部を切り開く開胸手術をせず、カテーテル(細い管状の医療器具)を用いて心臓の冠動脈を血管の内側から治療する手術です。値はこの手術を行った患者数です。		*	0件	0件
(分娩)			むつ総合 病院	むつリハビリ テーション病院	大間病院
(項目の解説)					
分娩件数(正常分娩、帝王切開を含む、死産を除く)	分娩を行った患者数です。	206件		0件	0件



令和3年度病床機能報告の結果（診療実績等）下北地域



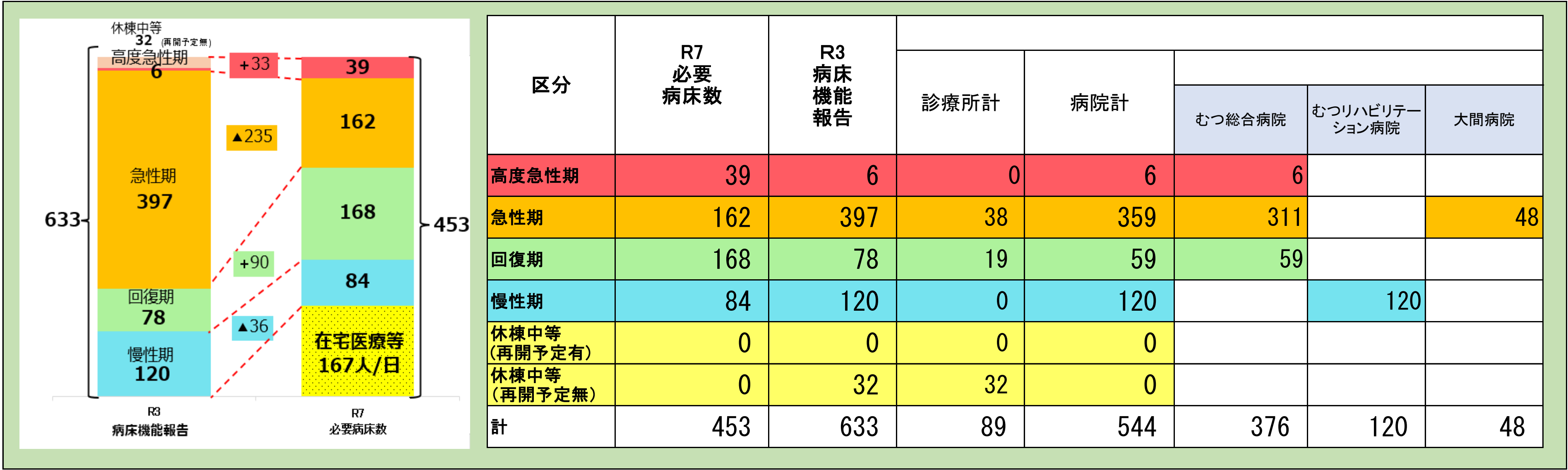
1・令和2年4月1日～令和3年3月31日までの1年分の実績。

6．救急医療の実施状況

	750件以上（社会医療法人の認定要件：夜間・休日　救急車受入件数＝年750件以上）			
	1～749件			
	(項目の解説)	むつ総合病院	むつりハビリテーション病院	大間病院
院内トリアージ実施料	院内トリアージ実施料は、夜間や休日、深夜に受診した救急患者に対し、その緊急度に応じて、診療の優先順位付け(院内トリアージ)を行っていることを示す項目です。値はトリアージを行った患者数です。	*	0件	0件
夜間休日救急搬送医学管理料	夜間休日救急搬送医学管理料は、夜間や休日等の救急搬送に対応していることを示す項目です。値は、深夜、休日等に救急車や救急医療用ヘリコプター等で搬送され、診療を行った患者数です。	*	0件	*
精神科疾患患者等受入加算	精神科疾患患者等受入加算は、夜間や休日等に救急搬送される急性薬毒物中毒の患者に対応していることを示す項目です。値は、夜間や休日等に搬送された患者のうち、過去6月以内に精神科の受診歴がある患者や、急性薬毒物中毒(アルコール中毒は除く)と診断された患者数です。	0件	0件	0件
救急医療管理加算1及び2	救急医療管理加算は、意識障害、昏睡等の重篤な状態の患者の緊急入院を受け入れていることを示す項目です。値は休日又は夜間に緊急入院し、救急医療を行った患者数です。	1,590件	0件	375件
在宅患者緊急入院診療加算	在宅患者緊急入院診療加算は、在宅での療養中に病状が急変し、入院が必要となった場合に、患者の意向を踏まえた医療が引き続き提供されるよう、他の医療機関と連携する取組を行っていることを示す項目です。値は、他の医療機関の求めに応じて緊急入院を受け入れた患者数です。	0件	0件	0件
休日に受診した患者延べ数	休日に受診した患者延べ数は、休日(日曜、祝日、年末年始)に受診した患者数と、そのうち診療後にただちに入院が必要となった患者数です。	2,271人	0人	636人
うち診察後直ちに入院となった患者延べ数		357人	0人	83人
夜間・時間外に受診した患者延べ数	夜間・時間外に受診した患者延べ数は、夜間・時間外(医療機関が表示する診療時間以外の時間(休日を除く))に受診した患者数と、そのうち診療後にただちに入院が必要となった患者数です。	4,049人	0人	539人
うち診察後直ちに入院となった患者延べ数		762人	0人	143人
救急車の受入件数	救急車の受入件数は、救急車や救急医療用ヘリコプター等により搬送され受け入れた患者数です。	2,369件	0件	258件
救命のための気管内挿管	気管内挿管は、気道確保を行うためのチューブ等を口や鼻から挿入する処置です。値は救命措置として気管内挿管を行った患者数です。	*	0件	*
体表面ペースティング法又は食道ペースティング法	体表面・食道ペースティングは、胸部または食道内に電極をおき、電極を介して心臓を電気刺激する処置です。値は処置を行った患者数です。	0件	0件	0件
非開胸的心マッサージ	非開胸的心マッサージは、胸部を開く等の手術を伴わない、一般的な心臓マッサージを行う処置です。値は処置を行った患者数です。	*	*	*
カウンターショック	カウンターショックは、心停止した患者に対し、AEDや専門の医療機器等を用いて、心臓に電気ショックを与え、正常な状態に戻す処置です。値は処置を行った患者数です。	*	0件	0件
心膜穿刺	心膜穿刺は、心臓を覆う心膜に針等を刺し、心臓に貯まった水を排出する処置です。値は処置を行った患者数です。	0件	0件	*
食道圧迫止血チューブ挿入法	食道圧迫止血チューブ挿入法は、食道静脈瘤からの出血に対し圧迫止血の目的でチューブを挿入する処置です。値は処置を行った患者数です。	0件	0件	0件



令和3年度病床機能報告の結果（診療実績等）下北地域



7. リハビリテーションの実施状況

1・令和2年4月1日～令和3年3月31日までの1年分の実績。

		200件以上			
		1～199件			
(項目の解説)			むつ総合病院	むつリハビリテーション病院	大間病院
疾患別リハビリテーション料		患者の疾患や状態に応じたりハビリテーションを行った患者数です。	1,944件	644件	329件
	心大血管疾患リハビリテーション料	心筋梗塞、狭心症、慢性心不全等の患者に対し、必要な心機能の回復、疾患の再発予防等を図るために行うリハビリテーションです。値はリハビリテーションを行った患者数です。	0件	0件	0件
	脳血管疾患等リハビリテーション料	脳梗塞、脳出血等の患者に対し、必要な基本動作能力、言語聴覚能力等の回復を図るために行うリハビリテーションです。値はこのリハビリテーションを行った患者数です。	179件	*	*
	廃用症候群リハビリテーション料	廃用症候群リハビリテーション料は、基本動作能力の回復、実用的な日常生活における諸活動の自立を図るために行うリハビリテーションです。値はこのリハビリテーションを行った患者数です。	259件	*	0件
	運動器リハビリテーション料	脊椎損傷による四肢麻痺、関節拘縮(かんせつこうしゅく:関節の動きが制限された状態)等の患者に対して、必要な基本的動作能力等の回復を図るために行うリハビリテーションです。値はこのリハビリテーションを行った患者数です。	830件	179件	254件
	呼吸器リハビリテーション料	肺炎、肺腫瘍、慢性の呼吸器疾患等の患者に対し、症状に応じて必要な呼吸訓練等を行うリハビリテーションです。値はこのリハビリテーションを行った患者数です。	*	0件	0件
	障害児(者)リハビリテーション料	脳性麻痺、発達障害等の患者に対し、状態に応じて行うリハビリテーションです。値はこのリハビリテーションを行った患者数です。	0件	0件	0件
	がん患者リハビリテーション料	がんの患者に対し、治療の過程で生じた筋力低下、障害等の改善を目的として行うリハビリテーションです。値はこのリハビリテーションを行った患者数です。	*	0件	0件
	認知症患者リハビリテーション料	重度の認知症患者に対し、必要な認知機能や社会生活機能の回復を図るために行うリハビリテーションです。値はこのリハビリテーションを行った患者数です。	0件	0件	0件
早期リハビリテーション加算(リハビリテーション料)		早期リハビリテーション加算は、治療開始後の早期段階(治療開始日から30日以内)からリハビリテーションを行っていることを示す項目です。値は早期段階のリハビリテーションを行った患者数です。	1,444件	*	270件
早期離床・リハビリテーション加算(特定集中治療室管理料)		早期離床・リハビリテーション加算(特定集中治療室管理料)は、入院後早期から離床に向けた取組を行っていることを示す項目です。値は早期離床段階のリハビリテーションを行った患者数です。	0件	0件	0件
初期加算(リハビリテーション料)		初期加算は、治療開始後の初期段階(治療開始日から14日以内)からリハビリテーションを行っていることを示す項目です。値は初期段階からリハビリテーションを行った患者数です。	558件	0件	215件
摂食機能療法		摂食機能療法は、食べる機能(摂食機能)が落ちている患者に対し、症状に応じて行うリハビリテーションです。値はこのリハビリテーションを行った患者数です。	*	*	0件
休日リハビリテーション提供体制加算(回復期リハビリテーション病棟入院料)		休日リハビリテーション提供体制加算は、休日にも平日同様にリハビリテーションを提供できるような職員配置がなされていることを示す項目です。値はこうした病棟に入院している患者数です。	0件	0件	0件
入院時訪問指導加算(リハビリテーション総合計画評価料)		入院時訪問指導加算は、医師、看護師等が、患者が退院後に生活する自宅や施設等を訪問し、その住環境や家族の状況等を踏まえたリハビリテーション実施計画を策定していることを示す項目です。値はこのようにして計画が策定された患者数です。	0件	0件	0件